



令和3年度川俣町立福田小学校学校だより

しらさぎ Kids NO. 40

令和4年2月4日

文責:校長 神尾孝弘

福田小での思い出を植えたよ～閉校記念植樹～



2月1日（火曜日）。3月の閉校を前に、福田小での思い出を残そうと、記念植樹を行いました。みんなで「大きくなあれ、大きくなあれ」と声をかけながら植えたのは、秋山の駒ザクラと同じエドヒガンザクラです。春になると福田小は閉校となりますが、みんなで植えた桜の木は、これからますます大きくなって、一人一人の成長を見守っていくことでしょう。そして、楽しかった福田小の思い出は、きれいな桜の花となっていくまでも残っていくことでしょう。

今回の記念植樹は、森林環境学習の一環として実施しました。ご協力をいただいた県北森林組合の皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。



【放送で実施「豆まき集会」】

2月2日（水曜日）。お昼のしらさぎタイムの時間に、代表委員会が中心となって豆まき集会を行いました。学級ごとに、自分たちの心の中から追い出したい鬼を考えて大きな絵にしました。「わすれんぼう鬼」「自分からやらない鬼」「むだづかい鬼」など、子どもたちが退治したい鬼が各学級に登場しています。

各学級の代表児童が、放送で、追い出したい鬼の紹介と今後の抱負を発表しました。そして、放送での代表委員の声に合わせて、各学級で豆がまかれました。



感染症対策のため、全校生が集まることはできず、放送による学級ごとの豆まきとなりましたが、子どもたちは季節の行事を体験することができました。みんなで心の中に福を呼び込み、晴れ晴れとした気持ちで春を迎えられそうです。

【分散開催「なわとび記録会」】

2月3日（木曜日）は、なわとび記録会でした。例年なら、全校生で実施して、保護者の皆さんにも参観してもらうなわとび記録会ですが、今年は、感染拡大防止のため、保護者の参観は行わず、子どもたちも分散して少人数で実施しました。換気や消毒をしっかりと行い、応援の気持ちも拍手や態度で表しました。

そんな制限のある中での開催でしたが、子どもたちは一生懸命に、日頃の練習の成果を発揮して、目標に向かって頑張りました。頑張った全員に拍手を送りたいと思います。これからも感染対策をしながら、冬場の体力向上に取り組み、元気な体を作ってほしいと思います。

